

6月30日

弟子屈中学校文科部が協力 写真展「てしかがの星空に愛をこめて」

装飾を担当した文科部員たち



てしかが星空
愛好会（馬場
一郎会長）主催
の写真展「てし
かがの星空に愛
をこめて」の展
示準備が6月30
日、道の駅摩周

温泉で行われました。

同愛好会員6人が撮影した作品21点に合わせ、弟子屈中学校文科部の生徒たちが会場の飾りつけを行いました。コットンボールや3Dプリンターなどで作成した天体モチーフのモビール、88星座を描いた敷物など、美しい星空の写真とマッチした装飾も楽しめる本写真展は、8月30日(日)まで開催されます。

6月28日

館山市消防団長による研修講話 町消防団が定例訓練を実施

吉野さんによる講話の様子



町消防団（不動
繁雄団長）による
定例訓練が6月28
日、弟子屈消防署
で実施されました。
今回の訓練には
同団員や町消防署

員、鶴居消防団員の計51人が参加。総務省消防庁消防団等充実強化アドバイザーで、千葉県館山市消防団長の吉野隆志さんが講師を務め、災害時の消防団活動について講話を行いました。令和元年9月に同市を襲った台風15号での実体験や課題などを聞き、今後の活動の参考とするため積極的に質問する参加者らの姿が見られました。

7月2日

快適な学校生活を支援 町女性団体協議会が雑巾を寄附

岩原教育長（左）と同協議会の皆さん



町女性団体協議会
（土屋ひとみ会長）に
よる、町内各小中学
校への雑巾300枚の寄
附が7月2日、役場
庁舎で行われました。
寄附された雑巾は、
児童生徒が快適な学
校生活を送るため、校
内の清掃活動や環境
整備に役立てる予
定です。こうした地
域からの温かな支
援が、子どもたち
のより良い教育環
境の支えとなっています。

岩原勝行教育長は「心のこもったご厚意に感謝しています。大切に活用したい。」と感謝を述べました。

6月30日

ルカイ族文化と伝統継承を学ぶ 台湾・霧台郷との連携記念講演会を開催

タイバンの文化継承の重要性を語る



北海道大学アイヌ・先住民
研究センター主催の「台湾
屏東縣霧台郷×弟子屈町連携協
定記念講演会」が6月30日、町
公民館で開催され49人が参加し
ました。

この講演会は霧台郷と町が令和7年度に連携協定を結んだことを記念したもので、台湾・国立成功大学のタイバン・ササラ教授が、台湾の先住民の一つであるルカイ族について講演。アイヌ民族との共通点や文化継承の取組・工夫が紹介され、多様性を尊重し共に未来へつなぐ大切さを学びました。

7月9日

総合的な学習「個人探究」の一環 弟中生が園児たちにサッカーを指導

サッカーを教わる園児たち



弟子屈中学校3
年生の今井琉斗さ
んと祖父江正雄さ
んが7月9日、総
合的な学習「個人
探究」の一環で、
認定こども園（高
野龍彦園長）の園
児を対象にサッカー
体験教室を開催し
ました。

この日3年生たちは、弟子屈を盛り上げるためそれぞれが立案したテーマに基づき、校内外でさまざまな活動を行いました。2人は自身の得意分野から着想を得て企画したサッカー体験教室で、園児たちにサッカーの楽しさを伝えました。

6月7日

町未来子ども協議会主催の遠足 トレッキングツアーで自然観察

山中でみんなと記念撮影



町未来子ども協
議会（奥村利之会
長）が6月7日、「遠
足だー！全員集
合わくわくドキ
ドキ探検隊みんな
でトレッキングす
る

よー！イエーイ！！」を実施しました。

ツアーには小学生13人、中学生ボランティア4人が参加し、摩周・屈斜路トレイルの仁伏半島から砂湯までの5.2kmを、ガイドの方々と一緒に歩きました。道中、シカが木の表皮を食べた跡を観察したり、カッコウの鳴き声に耳を澄ませたりと、たくさんの発見があった楽しいツアーとなりました。

6月9日

アトサヌプリの噴火を想定して 火山噴火総合防災訓練図上検討を実施

地図を見ながら訓練内容を確認



アトサヌプリ火
山防災協議会（徳
永哲雄会長）が、
10月14日(水)に実施
予定の「令和8年
度アトサヌプリ火
山噴火総合防災訓
練」に向けた図上

検討を6月9日、町公民館で実施しました。

町や消防、警察、気象台など関係機関から62人が出席。釧路総合振興局地域創生部危機対策室の西田和也危機対策推進幹が主な説明を担当し、噴火警戒レベルに応じた訓練内容や、迅速な情報伝達、対応の在り方など、床に広げた地図を用いながら入念な確認を行いました。

6月26日

川湯の街中探索に出発 川湯保育園が歩き遠足を実施

手をつなぎ探索する4・5歳児



川湯保育園（小林
史和園長）は6月26
日、園児たちの歩き
遠足を行いました。
0～2歳児は川湯ビ
ジターセンターへ、
3歳児は岩盤テラス
へ向かい、それぞれ
自然を探索。4・5

歳児は大鵬相模記念館を訪問後、同センターを経由して旧園舎に移動し、外遊びを楽しみました。

思いっきり遊んでから帰園したみんなを待っていたのは、お昼ご飯のお弁当。園舎裏の「北の原っぱ」で、園児たちは大好きなお弁当を口いっぱい口に頬張り、笑顔を咲かせていました。

6月8日

町民の皆さんと町に緑を 苗木無料配布会を開催

選定した苗木をお持ち帰り



町緑化推進委員
会（徳永哲雄会
長）による、町民
を対象とした苗木
無料配布会が6月8
日、役場庁舎前と川
湯支所前で行われ
ました。

町内の緑化推進を目的に毎年行われているもので、今年用意された苗木はハスカップとブドウの2種、計80本。雨の中での開催となりましたが、会場には多くの町民が集まり、皆さんお気に入りの苗木を持ち帰りました。

また、配布会場では緑の募金も行われ、訪れた方々が募金に協力していました。

6月25日

農業の基盤づくりに感謝 第38回「援農の碑」記念式を開催

感謝を込めて参拝



太平洋戦争中の
1945年、北海道援
農労働報国隊とし
て本町に派遣され
た岩手県久慈農林
学校（現・久慈東
高校）の生徒をた
える「援農の碑」
記念式が6月25日、
摩周観光文化セン
ター敷地内の同碑
前で行われました。

同碑は、町の農業発展に寄与した生徒たちの功労を忘れずに感謝していこうと、1989年6月25日に建立されました。式典は、関係者で組織する「6・25会」が中心となり毎年行っているもので、参列した皆さんは先人たちの功労に思いをはせました。